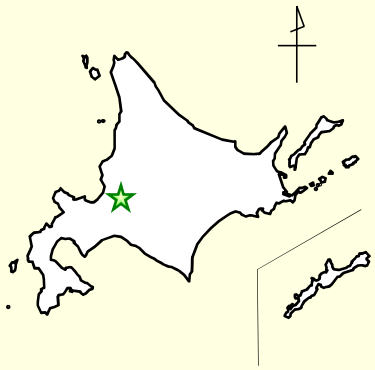
国営かんがい排水事業

篠津運河下流地区（しのつうんがかりゅう）



～施設統廃合による省エネルギー化の実現に向けて～

地域の概況

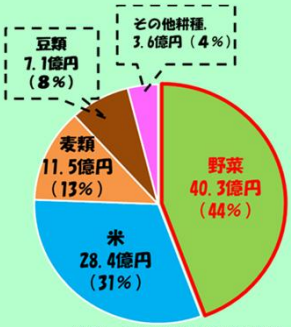
本地区は、石狩振興局管内の江別市及び当別町に位置し、石狩川下流右岸に拓けた農業地帯である。地域の営農は水稲、小麦、大豆、ブロッコリー、レタス等を組み合わせた水田作経営が展開されている。

【江別市が収穫量道内１位のブロッコリー】

【江別市が収穫量道内２位のレタス】

【江別市にある野菜の駅】

地域の農業産出額　計90.9億円



資料：市町村別農業算出額R2

地区の現状と課題

本地区の用排水施設は、経年的な劣化等により、施設の維持管理に多大な費用を要している。併せて、地区内の農業用水は、近年の営農状況の変化に伴い水需要が変化しているとともに、中島揚水機等の小揚水機群においては、堆積土砂の除去により、用水管理に多大な費用を要している。

また、地区内の排水施設は、土地利用の変化等による流出量の増加や泥炭土に起因する地盤沈下の進行により排水能力が不足し、湛水被害及び過湿被害が発生し農業生産性が低下しているとともに、湛水被害への対応による施設の維持管理に多大な労力を要している。

用排水施設の機能低下／小揚水機の不安定取水／湛水・過湿被害の発生

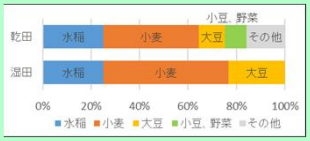
八幡幹線用水路の漏水状況
●用水施設の機能低下

堆積土砂撤去状況（中島揚水機）
●土砂堆積による取水阻害

大豆ほ場の湛水状況（R４．８）
●湛水被害により作物に被害が発生

【近年10ヶ年のたん水発生状況】

湛水被害発生発生日	湛水面積（ha）
H28.8.16～8.17	167.57
H30.8.13～8.17	100.15
R4.8.15～8.16	115.59



●過湿被害により高収益作物（野菜）の作付が困難

事業目的

本事業では、水需要の変化や用水管理の合理化に対応した用水再編を行うとともに、用排水施設の整備を行い、併せて関連事業において暗渠排水を整備することにより、農業用水の安定供給及び施設の維持管理の軽減を図るとともに、農地の湛水被害及び過湿被害の解消を図り、農業生産性の向上及び農業経営の安定に資するものである。

用排水施設の整備

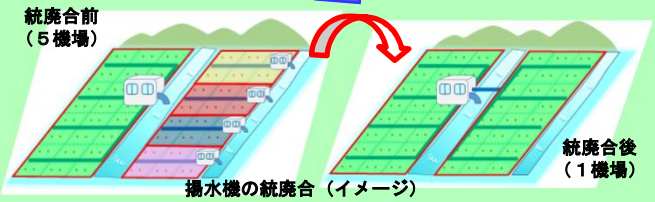
排水機場の整備（イメージ）

排水機場ポンプ設備の整備（イメージ）

整備前の排水路（断面不足・老朽化）

排水路完成（イメージ）

用水路の整備（イメージ）



揚水機の統廃合（イメージ）

事業計画内容

受益面積　：　1,863ha
事業着手　：　令和６年度
関係市町　：　江別市、石狩郡当別町
受益戸数　：　150戸
主要工事　：　揚水機１箇所（改修）、排水機２箇所（改修）
　　用水路２条L=7.0km、排水路２条L=8.4km
主要作物　：　水稲・小麦・豆類・野菜類（ブロッコリー、レタス）

江別市 Ebetsu City

当別町 Tobetsu Town